2014年

平 成26年第1回市議会定例会より

藤市長の市政執行 針

未来に、つなげる、まちづくりへ

となる平成26年度の決意として、時代の変化に めの基本方針5つを述べました。 合わせ、将来へ持続可能なまちづくりを進めるた 例会で、工藤市長は、任期の締めくくりの年 2月28日に開会した平成26年3月市議会定

【全文は市ホームページに掲載しています】

にぎわいのあるまち 人を呼び込み、 地域交流人口の拡大を図

基本方針

さらに積極的な展開を図る の開催など、これまで積み 年と考えています。 振興や合宿誘致、イベント あり、そのためには、観光 ることが最も必要なことで 本市の昨年の上期観光客入 上げてきた実績をもとに、 観光客誘致につきまして、

運行休止の継続が伝えられ 季節便の関西便と中部便は ていますが、 加しています。 しもあり、前年より若干増 残念ながら、昨年に続き、 国内景気の持ち直 昨年就航した

年も計画されている ター便の就航が、本 きたいと考えています。 歳空港や旭川空港からのツ タイアップをした商品の造 に大いに期待をしています。 ことから、その実現と効果 アー客の誘致にも努めてい 安航空会社)も含めた新千 させるとともに、LCC(格 成や広告宣伝の支援を充実 予定されていると伺っている ほか、発着地や便数の増も インズ)の夏のチャー また、既存の航空路線と

きます。 極的な働きかけを行ってい 発について、旅行会社等へ積 して、バスやレンタカーな ど、陸路を活用した商品開

> もしつかりと支えていきたい 担う観光協会を行政として

ては、 外国人観光客につきまし 特に台湾からのツ

FDA (フジドリームエアラ

道央圏からの集客対策と 免許を取得した職員の配置 ては、専門職である旅行業 を図りたいと考えています。 ます。これまで同様、 アー客の増加が目立って 図ってきたと聞いています。 など、体制づくりの強化を ました稚内観光協会につい 光情報の提供や発信の強化 ション活動はもとより、 など現地での観光プロモー 観光振興の中心的役割を 新たなスタートを切り 一般社団法人とし 台湾

国内外を問わず、 引き続き、観光協会をは 関係団体と連携し、 観光客の

さらなる誘致対策を積極的

加しています。 により、参加団体が年々増 や関係者の熱心な誘致活動 スポーツ合宿誘致につい 受け入れ体制の充実

れています。 るなど、今後の誘致活動の 市で合宿を行っているバス 後の全日本総合選手権大会 ケットボールチームがその 大きな励みになる成果も現 嬉しいニュースとして、 男女とも好成績を収め 本

動を進めます。 みながら、さらなる誘致活 自治体との連携にも取り組 たノウハウを活かし、 今年も、これまで培ってき

携し、様々な取り組みを の駅のイベントの開催など、 行っています。 地元商店街や関係団体と連 ては、昨年もキタカラや道 中心市街地の活性化につい

ていきたいと考えています。 行政としてもしっかり支え 係団体により、

> とともに、夏の観光客を呼 年も積極的に取り組んでい び込む観光資源として、今 彩な、食、の魅力を発信する 食マルシェ」は、本市の「食の ブランド化」はもとより、多 して定着してきた「最北端・ 「様に、 夏のイベントと

ですが、本市から旭川、そ ワークの充実は欠かせませ 40号は、重要な役割を担っ ん。空路や鉄路はもちろん して、道央までを繋ぐ国道

まちに賑わいを生み出す 周辺

力あるイベントに育つよう、 館の集客力も合わせて、魅 いると聞いています。映画 元商店街や飲食店など、関 かし、新たなイベントが地 番長くなる本市の特性を活 期に、昼の時間が日本で一 本年は、6月の夏至の時 企画されて

> きます。 せるためには、 また、交流人口を増加さ 交通ネット

の増加など、 大きな効果をもたらすこと 函館まで延伸され、観光客 平成27年度末には新幹線が ている大動脈です。 観光振興の側面で言えば 北海道経済に

スタートの年だと思ってい ク」も開催されることから、 ンピック」、「パラリンピッ あらゆる面で準備を進める 及させ、一人でも多くの この効果を道北地域にも波 方々に訪れていただくよう 6年後には、「東京オリ

補助事業600万円

新年度、本市で予定されて ンカツプロジェクト」につい いる縁結びの ては、コンブと鰹を使用し た料理や商品の開発を進め、 鹿児島県 枕崎市との「コ 「婚活パー

経結びのまち コンカツ結婚調印式

関係団体などと検討を進め ティ」などで披露できるよう ていきます。

- 夏季観光活性化対策事業 補助金2,350万円 600万円
- 稚内観光協会補助事業
- 合宿誘致推進事業費補助 2,600万円 事業800万円

が期待されています。

最北端・食マルシェ開催費 わっかない白夜祭実行委 員会補助金100万円

基本方針2

活用した経済の活性化 域のポテンシャルを

ことを受け、 取り組みについては、北海 道北部地域が「特定風力集 中整備地区」 再生可能エネルギーへの 国が指定した特定目的 平成25年度か に指定された

な調査がスタートしていま つのルートで送電網整備実 会社2グループにより、 証事業が開始され、本格的

誘致宣伝広告業務委託料 資が必要となる巨大プロ を考えても、完成するまで されると考えています。 風力発電施設の建設が促進 ジェクトであり、この送電網 には、約1千2百億円の投 設される予定です。 ワットの風力発電施設が建 整備が完成すると、多くの 事業者による3万キロ また、平成27年には、市 本市に向かうルートだけ

創出など、地域経済の活性 考えています。 化に大きく貢献するものと う資機材搬入による港の活 今後、これらの建設に伴 メンテナンスビジネスの

り組みの強化を進めていき かりと情報収集を行い、取 と一層の連携を図り、しつ 国や風力発電関係団体等

稚内港港湾計画」を改定し 方向性を取りまとめた また、長期的な視野に立 港湾の整備や利用など

として、サハリンプロジェク ト支援はもとより、 谷海峡に面する国境のまち 強化はもちろんですが、宗 本計画は、稚内港の機能 ロシア